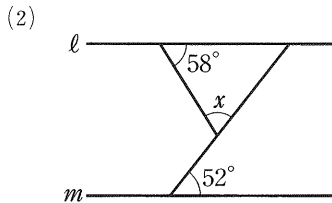
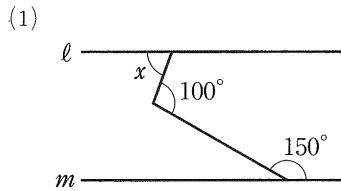


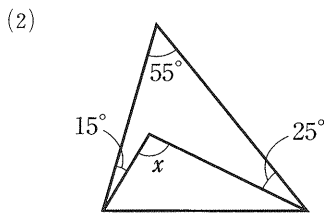
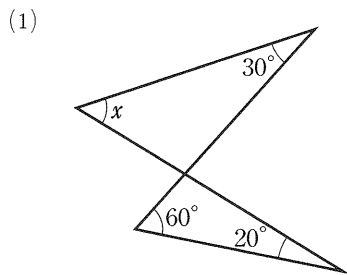
5 三角形と四角形

基本問題

1 [平行線と角] 次の図で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



2 [三角形の内角と外角] 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



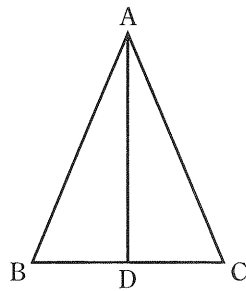
3 [多角形の角] 次の問いに答えなさい。

- (1) 十角形の内角の和を求めよ。
- (2) 1つの内角が 140° である正多角形の辺の数を求めよ。

4 [三角形の合同] 「二等辺三角形の2つの底角は等しい。」ということを証明するには、右の図で、 $AB = AC$ である $\triangle ABC$ の頂角 $\angle A$ の二等分線 AD をひき、 $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ をいうことにより、 $\angle B = \angle C$ になることを示せばよい。

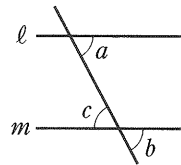
このとき、 $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ であることを示すには、下のア~エのうちのどれを用いればよいか。1つ選び、符号で答えなさい。

- ア $AB = AC, BD = CD, AD = AD$
- イ $AB = AC, \angle ADB = \angle ADC = 90^\circ, AD = AD$
- ウ $AB = AC, \angle BAD = \angle CAD, AD = AD$
- エ $AB = AC, \angle BAD = \angle CAD, \angle B = \angle C$



要点チェック

- 1 $l \parallel m$ ならば、
 $\angle a = \angle b$ (同位角)
 $\angle a = \angle c$ (錯角)

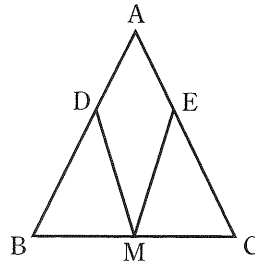


- 2 (1) 三角形の外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しい。
 (2) 三角形の内角の和は 180° である。

- 3 1つの頂点からひいた対角線によって、 n 角形は $(n-2)$ 個の三角形に分けられることから、
- n 角形の内角の和
 $\dots 180^\circ \times (n-2)$
 - n 角形の外角の和
 $\dots 360^\circ$

- 4 三角形の合同条件
- 3組の辺がそれぞれ等しい。
 - 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい。
 - 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

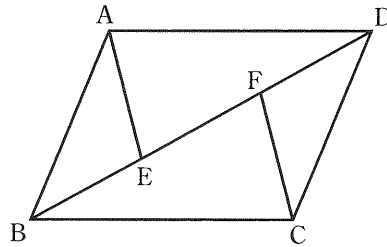
5 [二等辺三角形] 右の図のように、二等辺三角形ABCの底辺BCの中点をMとする。辺AB, AC上に $\angle BMD = \angle CME$ となるようにそれぞれ点D, Eをとる。このとき、 $MD = ME$ であることを証明しなさい。



5 二等辺三角形の性質

- ①底角が等しい。
- ②頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。

6 [平行四辺形の性質] 平行四辺形ABCDにおいて、対角線BD上に、 $BE = DF$ となるように2点E, Fをとる。このとき、 $AE = CF$ となることを証明しなさい。



6 平行四辺形の性質

- ①2組の対辺はそれぞれ等しい。
- ②2組の対角はそれぞれ等しい。
- ③対角線はそれぞれの中点で交わる。

7 [平行四辺形になるための条件] 次のア~エの四角形ABCDのうち、必ず平行四辺形であるといえるものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア $AD = BC$, $AB \parallel DC$ である四角形ABCD
- イ $AD = BC$, $AB = DC$ である四角形ABCD
- ウ $AD = BC$, $\angle A + \angle B = 180^\circ$ である四角形ABCD
- エ $AD = BC$, $\angle B + \angle D = 180^\circ$ である四角形ABCD

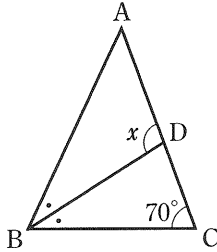
7 平行四辺形になるための条件

- ①2組の対辺がそれぞれ平行である。
- ②2組の対辺がそれぞれ等しい。
- ③2組の対角がそれぞれ等しい。
- ④対角線がそれぞれの中点で交わる。
- ⑤1組の対辺が平行でその長さが等しい。

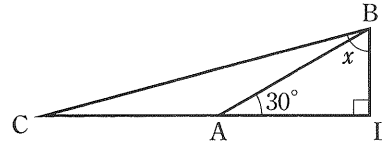
練習問題

8 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

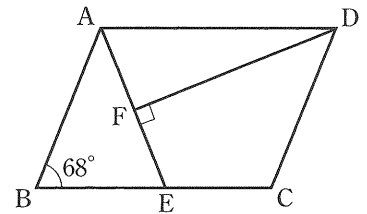
(1) $AB = AC$, $\angle ABD = \angle CBD$



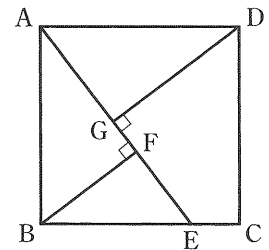
(2) $AB = AC$



9 右の図のように、平行四辺形ABCDの辺BC上に $AB = AE$ となるような点Eをとる。次に、頂点DからAEに垂線をおろし、AEと交わる点をFとする。 $\angle B = 68^\circ$ であるとき、 $\angle FDC$ の大きさを求めなさい。



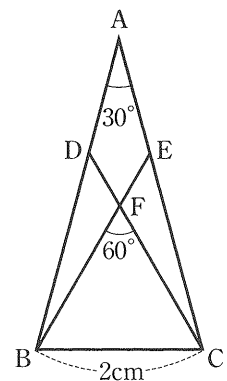
10 右の図のように、正方形ABCDの辺BC上(両端B, Cを除く)に点Eをとり、AとEを結ぶ。次に、頂点BおよびDから線分AEに垂線をひき、その交点をそれぞれF, Gとする。このとき、 $\triangle ABF \equiv \triangle DAG$ であることを証明しなさい。



11 右の図のように、頂角 $\angle A$ の大きさが 30° 、底辺BCの長さが2 cmの二等辺三角形ABCがある。2辺AB, AC上に $AD = AE$ となるように2点D, Eをとり、BEとCDの交点をFとする。 $\angle BFC = 60^\circ$ であるとき、次の問いに答えなさい。

〈佐賀〉

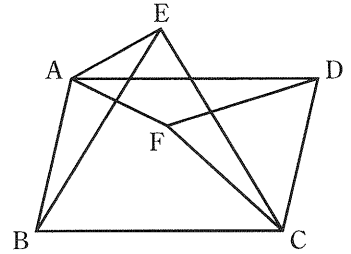
(1) $\triangle ABE \equiv \triangle ACD$ であることを証明せよ。



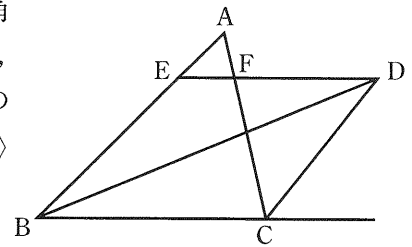
(2) $\angle ABE$ の大きさを求めよ。

(3) AFの長さを求めよ。

12 右の図のように、平行四辺形ABCDの辺BC, CDを1辺とする2つの正三角形BCEおよびCDFをつくり、AとE, AとFをそれぞれ結ぶ。このとき、 $AE = AF$ であることを証明しなさい。



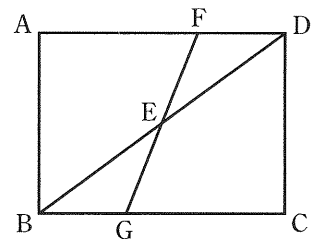
13 右の図の $\triangle ABC$ において、 $\angle B$ の二等分線と頂点Cにおける外角の二等分線との交点をDとする。また、Dを通りBCに平行な直線と、AB, ACとの交点をそれぞれE, Fとする。 $BE = 6 \text{ cm}$, $BC = 7 \text{ cm}$ のとき、台形EBCFの周りの長さを求めなさい。
 〈長野〉



■ 発展問題 ■

14 右の図のように、長方形ABCDがあり、対角線BDの中点をEとする。辺AD上に、2点A, Dと異なる点Fをとり、2点E, Fを通る直線と辺BCとの交点をGとする。このとき、次の問いに答えなさい。

〈香川〉



(1) $BG = DF$ であることを証明せよ。

(2) 点Gを通り、対角線BDと平行な直線をひき、辺CDとの交点をHとする。点Fと点Hを結ぶとき、 $FH + GH = BD$ であることを証明せよ。

6 資料の整理, 確率

基本問題

1 [度数分布表] 右の表は, 生徒20人が, ある日にテレビを見た時間を度数分布表に整理したものである。次の問いに答えなさい。

- (1) テレビを見た時間が60分未満の生徒の相対度数を求めよ。
- (2) この度数分布表から, 生徒がテレビを見た時間の平均値を求めよ。

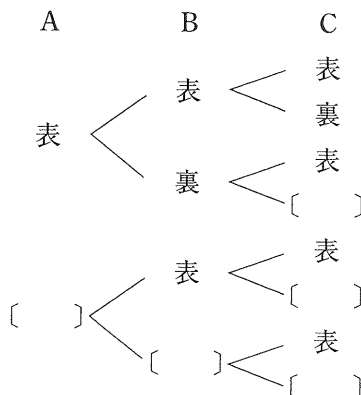
階級(分)	度数(人)
以上 未満 0~60	3
60~120	9
120~180	5
180~240	2
240~300	1
計	20

2 [さいころと確率] 次の問いに答えなさい。

- (1) 1つのさいころを投げるとき, 次の目が出る確率を求めよ。
 - ① 1の目が出る確率
 - ② 偶数の目が出る確率
- (2) 大, 小2つのさいころを同時に投げるとき, 次の確率を求めよ。
 - ① 同じ目が出る確率
 - ② 出る目の数の和が4になる確率
 - ③ 出る目の数の積が6になる確率

3 [硬貨と確率] A, B, C 3枚の硬貨を同時に投げるとき, 次の問いに答えなさい。

- (1) 3枚の硬貨の表, 裏の出方の場合の数を調べるために, 右のような図をかいた。図のあいているところをうめて, 表, 裏の出方が何通りあるか求めよ。
- (2) 3枚とも表になる確率を求めよ。
- (3) 1枚だけ裏になる確率を求めよ。



要点チェック

1 度数分布表

- 相対度数の求め方
(その階級の度数)
(度数の合計)
- 平均値の求め方
(階級値×度数)の合計
(度数の合計)

2 起こりうるすべての場合が n 通り, Aの起こる場合が a 通りであるとき, Aの起こる確率 p は, $p = \frac{a}{n}$

- (1) $n = 6$ である。
- (2) 2つのさいころを投げるときは, 表をかくとわかりやすい。起こりうるすべての場合の数は,

$$6 \times 6 = 36(\text{通り})$$

①

		小					
		1	2	3	4	5	6
大	1	○					
	2		○				
	3			○			
	4				○		
	5					○	
	6						○

3 左のような図を樹形図という。場合の数は, 樹形図や表などをかいて, 落ちや重なりがないようにして数えるとよい。

4 [カードと確率] ①, ②, ③, ④の4枚のカードがある。この中から1枚ずつ2回取り出し, 1回目に取り出したカードの数字を十の位の数, 2回目に取り出したカードの数字を一の位の数として, 2けたの整数をつくる。このとき, 次の問いに答えなさい。

(1) 何通りの整数ができるか。

(2) 偶数ができる確率を求めよ。

(3) 40以上の整数ができる確率を求めよ。

5 [玉と確率] 赤玉が2個, 白玉が3個入った袋がある。この中から同時に2個の玉を取り出すとき, 次の問いに答えなさい。

(1) 2個とも赤玉になる確率を求めよ。

(2) 2個とも白玉になる確率を求めよ。

(3) 赤玉が1個, 白玉が1個となる確率を求めよ。

6 [くじびきと確率] あたりくじ2本, はずれくじ3本でできているくじがある。このくじをA, B 2人が1本ずつひくことにする。Aが先にひき, ひいたくじをもとにもどさずに次にBがひくとき, 次の問いに答えなさい。

(1) Aがはずれ, Bがあたりくじをひく確率を求めよ。

(2) Bがあたりくじをひく確率を求めよ。

4 (1) 十の位が①のとき, 一の位は②, ③, ④の3通りある。十の位が②, ③, ④のときも, それぞれ3通りずつある。

(2) 一の位が②または④のときである。

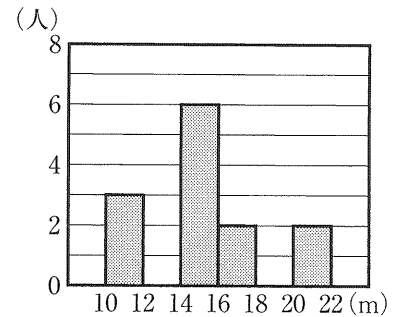
5 赤玉2個を赤₁, 赤₂, 白玉3個を白₁, 白₂, 白₃と区別して考える。

6 あたりくじを①, ②, はずれくじを③, ④, ⑤として, A, Bのくじのひき方を樹形図などをかいて調べる。

(2) Aもあたる場合, Aははずれる場合がある。

練習問題

- 7 右の図は, ある中学校の女子20人のハンドボール投げをした結果を, ヒストグラムに表したものであるが, 12m以上14m未満, 18m以上20m未満の階級については記入されていない。20人の平均が15.4mのとき, 12m以上14m未満, 18m以上20m未満の人数を求めなさい。〈三重県〉



- 8 A, B 2個のさいころを同時に投げるとき, 次の問いに答えなさい。

- (1) 出る目の数の和が6になる確率を求めよ。
- (2) 出る目の数の差が4になる確率を求めよ。
- (3) 出る目の数の積が4以下になる確率を求めよ。

- 9 次の問いに答えなさい。

- (1) 2枚の硬貨A, Bを同時に投げるとき, 2枚とも表の出る確率を求めよ。〈富山〉
- (2) 3枚の硬貨を同時に投げるとき, 少なくとも1枚は裏が出る確率を求めよ。〈愛媛〉

- 10 次の問いに答えなさい。

- (1) 数の書いてある4枚のカード①, ②, ③, ④がある。これらのカードから2枚を同時に取り出すとき, 取り出した2枚のカードに書いてある数の和が5である確率を求めよ。〈大阪〉
- (2) 数字を書いた5枚のカード①, ①, ①, ②, ②がある。この5枚のカードをよくきって, その中から同時に2枚を取り出す。取り出した2枚のカードに書いてある数字が同じになる確率を求めよ。〈香川〉

11 次の問いに答えなさい。

- (1) 学級の朝の会で、ある展覧会の割引券2枚を希望者に配るという連絡があった。AさんとBさんが希望したところ、この2人を含めて全部で4人の希望者がいたため、4人の中から、割引券がもらえる2人をくじで選ぶことになった。このとき、AさんとBさんの2人が、ともに選ばれる確率を求めよ。

〈静岡〉

- (2) ある中学校の3年1組では、A, B, C, D, E, Fの生徒6人が花壇の世話係である。そのうち、A, B, C, Dは男子であり、E, Fは女子である。この6人のうちから、ある日の世話係2人をくじで決めるとき、男子1人と女子1人の2人に決まる確率を求めよ。

〈新潟〉

12 1, 2, 3の数字を1つずつ記入した3枚のカードと、1, 2, 3の数字を1つずつ記入した3枚の封筒がある。3枚のカードを裏返しにしてよくきり、1枚ずつ封筒に入れたあと、それぞれの封筒にどのカードが入っているかを調べる。次の問いに答えなさい。

〈長野〉

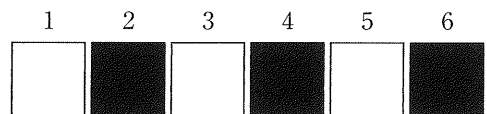
- (1) 封筒の数字とカードの数字が、すべて一致する確率を求めよ。

- (2) 封筒の数字とカードの数字が、1組も一致しない確率を求めよ。

■ 発展問題 ■

13 表が白、裏が黒のカードが6枚ある。右の図のように、

1から6までの数字の下に、カードが白, 黒, 白, 黒, 白, 黒の順に1枚ずつ置かれている。正しくつくられた1つの



さいころを続けて2回以上投げる。さいころを投げるごとに、そのとき置かれているカードのうち、出た目の数と同じ数字の下にあるカードを、白は黒に、黒は白に裏返すものとする。これについて、次の問いに答えなさい。

〈広島〉

- (1) さいころを続けて4回投げるとき、黒の面が見えているカードは最も多くて何枚になるか。

- (2) さいころを続けて2回投げるとき、白の面が見えているカードが5枚となる確率を求めよ。

解答

<Sp 中3 数学>

1 正負の数, 式の計算, 方程式の解き方

p.2~3

●基本問題

- 1** (1) 2 (2) -3
 (3) -32 (4) 5
 (5) 7 (6) -10
- 2** (1) $-a+2$ (2) $5x-1$
 (3) $9x-6y$ (4) $2x^2+3x+1$
- 3** (1) $12a-6b$ (2) $-3x+4y$
 (3) $19a-9b$ (4) $x+7y$
 (5) $\frac{9a-2}{10}$ (6) $\frac{3a+b}{6}$
- 4** (1) $-2a^2$ (2) $6xy$
 (3) $-ab$ (4) $-18x^2y^2$
- 5** (1) 22 (2) 6
- 6** (1) $1000-5a=b$
 (2) $12-3x<7$
- 7** (1) $y=\frac{-2x+1}{3}$ (2) $a=b+\frac{\ell}{2}$
 (3) $h=\frac{3V}{\pi r^2}$ (4) $b=-a+5m$
- 8** (1) $x=-1$ (2) $x=-5$
 (3) $x=6$ (4) $x=7$
 (5) $x=25$ (6) $x=9$
- 9** (1) $x=5, y=2$
 (2) $x=-1, y=-3$
 (3) $x=-1, y=1$
 (4) $x=4, y=5$
 (5) $x=-2, y=3$
 (6) $x=2, y=-1$

解説

- 1** (5) 与式 $= 3 - (-4) = 7$
 (6) 与式 $= -4 + 3 \times (-2) = -4 + (-6) = -10$
- 2** (2) 与式 $= 6x - 8 - x + 7 = 5x - 1$
 (4) 与式 $= 3x^2 - x + 2 - x^2 + 4x - 1$
 $= 2x^2 + 3x + 1$
- 3** (3) 与式 $= 15a - 3b + 4a - 6b = 19a - 9b$
 (4) 与式 $= 4x + y - 3x + 6y = x + 7y$
 (5) 与式 $= \frac{2(2a-1)+5a}{10} = \frac{4a-2+5a}{10}$
 $= \frac{9a-2}{10}$

$$(6) \text{ 与式} = \frac{2(2a-b) - (a-3b)}{6} = \frac{4a-2b-a+3b}{6}$$

$$= \frac{3a+b}{6}$$

4 (2) 与式 $= 4x^2y \times \frac{3}{2x} = 6xy$

5 (1) 与式 $= -2a + 6b$
 $= (-2) \times (-5) + 6 \times 2$
 $= 22$

(2) 与式 $= 3a = 3 \times 2 = 6$

- 6** (1) a 円のノート5冊の代金は, $5a$ (円)
 1000円出したときのおつりは, $1000 - 5a$ (円)
 これが b と等しいから, $1000 - 5a = b$
 (2) 12から x の3倍をひいた差は, $12 - 3x$
 これが7より小さいから, $12 - 3x < 7$

7 (1) $3y = -2x + 1, y = \frac{-2x+1}{3}$

(2) $2(a-b) = \ell, a-b = \frac{\ell}{2}, a = b + \frac{\ell}{2}$

(3) $\frac{1}{3}\pi r^2 h = V, \pi r^2 h = 3V, h = \frac{3V}{\pi r^2}$

(4) $\frac{a+b}{5} = m, a+b = 5m, b = -a + 5m$

8 (3) 両辺に10をかけて, $2x - 4 = 3x - 10$
 $-x = -6$
 $x = 6$

(4) 分母をはらって, $3x - x + 1 = 15$
 $2x = 14$
 $x = 7$

(5) $40 : x = 8 : 5$
 $8x = 40 \times 5$
 $x = 25$

(6) $6 : 9 = 14 : (30 - x)$
 $6(30 - x) = 9 \times 14$
 $30 - x = 21$
 $-x = -9$
 $x = 9$

9 (2) (第1式) $\times 2$ $6x - 4y = 6$
 (第2式) $-) 5x - 4y = 7$
 $x = -1$

$x = -1$ を第1式に代入して,
 $-3 - 2y = 3, -2y = 6, y = -3$

(4) 第1式を第2式に代入して,
 $2x - (9 - x) = 3$
 $2x - 9 + x = 3$